

令和4年4月19日

瀬戸内国際芸術祭2022 香川大学作品

香川大学 × 瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト瀬戸内仕事歌&四国民話オペラ「二人奥方」

四国民話オペラ「二人奥方」練習を公開します！！

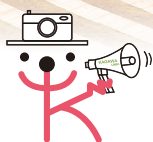
- 日時：令和4年4月28日(木) 19時00分～20時30分
- 場所：香川大学 OLIVE SQUARE 多目的ホール(幸町北キャンパス構内)

香川大学は、世界的に注目されているアートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2022」の公式プログラムとして参加します。今回、参加作品のうち、オペラ「二人奥方」の練習を公開いたします。艶やかな平安装束を着けての練習を、是非、取材いただければと思います。

【 概 要 】

香川では58年前、芸術家・文化人の先人たちが集結し「四国の民謡・民話による新音楽の創造」を目的として四国初のオペラ作品「二人奥方」が誕生しました。「きつねがなぜ四国にいないのか？」を裏づけるエピソードとなる殿様夫婦を描いた痛快な民話オペラ。この作品に新しい解釈、現代人に分かりやすい演出、編曲を行い、学生や地域の芸術家たちと公演することで、瀬戸内地方の音楽芸術の魅力発見・発信に繋がっていきます。

※香川大学は、「環瀬戸内圏の中核都市に位置する大学」であることを踏まえ、学術文化の発展に寄与することを使命としており、そのような使命のもと、学生、教職員が「瀬戸内国際芸術祭」に積極的に参加するとともに、「アート県」を標榜している香川県とも連携しながら、学術・文化の両側面から、大学としても全学をあげて協力しています。



お問い合わせ先

香川大学広報課

☎ 087-832-1029

✉ kouhou-h@kagawa-u.ac.jp

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 2



香川大学

瀬戸内国際芸術祭2022
香川大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・
芸術発信プロジェクト」

瀬戸内仕事歌
Work songs of Setouchi

&

四国民話オペラ
「二人奥方」

石切り唄

地つき唄

砂糖しめ唄

仁尾綱引き唄

伊吹島舟唄

さぬき麦打ち唄

浜曳き唄



2022年

5月15日(日)

1回目開場 14:00 開演 15:00
2回目開場 17:15 開演 18:00

四国村 農村歌舞伎舞台

高松市屋島中町 91 ※駐車スペースが限られておりますので、
できるだけ公共交通機関でのご来場をお願い致します。

特設サイト / <https://www.kagawa-u.ac.jp/cooperation-community/local/27076/28036/> ▶ ▶ ▶

※悪天候の場合は「のぞみ幼稚園(高松市屋島中町30)」に会場を変更いたします。詳細は上記ホームページをご覧ください。

※2回目は、香川大学生プロジェクト「TERASU」による、あかりが灯った讃岐提灯の展示がございます。

料 金 / 一般前売り 2,500円 一般当日 3,000円 ※当日パスポート提示で 2,800円

小中高生前売・当日ともに 1,500円

チケット取り扱い/瀬戸内国際芸術祭総合案内所(高松港旅客ターミナルビル1F) Tel. 087-813-2244

四国村 Tel. 087-843-3111 ・ 香川大学生協同組合 Tel. 087-833-5755

レクザムホール(香川県県民ホール) Tel. 087-823-5023

オンライン販売/デジパス <https://setouchi-artfest-passport.eplus.jp/> ▶ ▶ ▶

主催 / 瀬戸内国際芸術祭実行委員会 香川大学

□お問い合わせ / 香川大学地域連携推進課 Tel / 087-832-1370 mail / chiikisen-6-h@kagawa-u.ac.jp



瀬戸内国際芸術祭2022

香川大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」

Kagawa University "Setouchi Traditional Life Culture and Art Project"

瀬戸内仕事歌 & 四国民話オペラ「二人奥方」

The Setouchi Work Songs & Shikoku Folktale Opera "The Two Madams"

第一部 瀬戸内仕事歌

※背景に古草敦史（香川大学）制作の各仕事風景画を映写

瀬戸内地域では、そこに暮らす人たちの生活から生まれた音楽（仕事歌）があります。今や、消えつつあるその音楽（限界芸術）とともに、地域の人たちとその仕事、郷土の風景を現代に甦らせ、現代人として先人たちの郷土への思いを伝える場とします。

芸術監督・演出 若井 健司 映像原画 古草 敦史 舞踊振付 森 ゆかり MC 中越 恵美 助演 香川大学生

- | | | | |
|---------|---------------|--------------|----------|
| 1・石切り唄 | 2・地つき唄（道化祭の唄） | 3・東讃砂糖しめ唄 | 4・仁尾綱引き唄 |
| 5・伊吹島舟唄 | 6・讃岐麦打ち唄 | 7・浜曳き唄（宇多津浜） | |



石切り唄保存会



讃岐民謡保存会



桑山会宇多津社中



現代舞踊研究会「土曜族」

第二部 民話オペラ「二人奥方」

作曲 菅野 浩和 台本 瀬川 拓男

58年前、芸術家・文化人の先人たちが集結し「四国の民謡・民話による新音楽の創造」を目的として四国初のオペラ作品「二人奥方」が誕生しました。「きつねがなぜ四国にいないのか？」を裏づけるエピソードとなる殿様夫婦を描いた痛快な民話オペラ。この作品に新しい解釈、現代人に分かりやすい演出、編曲を行い、学生や地域の芸術家たちと公演することで、瀬戸内地方の魅力の発見・発信に繋げていきます。



芸術監督・演出
若井 健司
(香川大学)



指揮・編曲
岡田 知也
(香川大学)



コンサートマスター
青山 夕夏
(香川大学)



音楽プロデューサー
東浦亜希子
(香川大学)



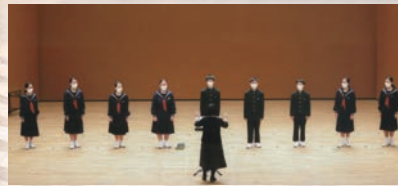
奥方 A
國方 里佳



奥方 B
佐治名津子



殿 様
三木 伸哉



合 唱
高松市立屋島中学校合唱部

助演（黒子・腰元）
香川大学生

アンサンブル
香川大学生・OB・教員



御殿医
綾 智成



老 僧
檜村 誠



前口上
(屋島太郎理)
中越 恵美

STAFF

舞台監督	田和 伸二 (タワ・スタッフコラボレーション)
照 明	西山 和宏 (㈲ミュウ・ライティング・オフィス)
音響・大道具	津村 哲治 (㈲ライブ総合舞台)
演出助手	大平 伊織 (四国二期会)
舞台スタッフ助手	香川大学教育学部音楽研究室・合唱団 他
衣 装	原和哉専門学院 他
メイク・かつら 他	認定NPO法人 農村歌舞伎祇園座保存会 他

協 力

公益財団法人四国民家博物館「四国村」、学校法人のぞみ学園のぞみ幼稚園、高松市立屋島中学校合唱部、四国二期会、讃岐民謡保存会、石切り唄保存会、桑山会宇多津社中、現代舞踊研究会「土曜族」、原和哉専門学院、認定NPO法人 農村歌舞伎祇園座保存会、香川県立ミュージアム、瀬戸内海歴史民俗資料館蔵、坂出市塩業資料館、高松市石の民俗資料館、一般財団法人宇多津振興財団「うたづ海ホテル」 他